

ICT活用教育

中学校3年 音楽
音の特徴や重なりを感じてリズムアンサンブルをつくろう

実践事例 NO.71

発行：伊那市教育委員会学校教育課
編集：ICT活用教育推進センター

どうしたらイメージに合ったリズムパターンをつくることができるだろう

生徒はこれまでに「手拍子」「ひざ」「足踏み」それぞれどんな音色で、どんな違いがあるか聞きとり、さらにリズムの重ね方によって雰囲気が違うことを感じ取りました。その上でペアでどのような作品を作りたいかを話し合いました。

本時では音色と音符の組み合わせを工夫して、イメージに合ったリズムパターンをつくることに取り組みます。この授業では「学習者用デジタル教科書」を活用することによって創作に苦手意識を持つ生徒にも有効な支援が行えました。

次時には本時つくったリズムパターンを組み合わせ、リズムアンサンブルを完成させます。



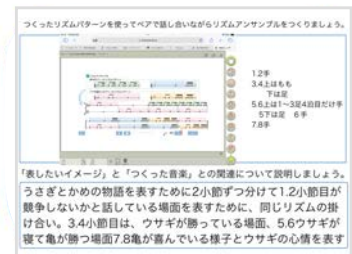
①前時に生徒たちが感じた音の特徴(音色)と「こんな場面使えそう」の考えを、スクールタクトにまとめたものを全員で確認します。



②デジタルコンテンツの「リズムカード」を使って音符を組み合わせ、自分たちのイメージに合ったリズムパターンをつくっていきます。



③ペアになってイメージに沿ったリズムパターンを工夫していきます。音符の選択、入力、確認の一連の流れをスムーズに行うことができます。



④デジタルコンテンツでつくった「リズムパターン」をスクールタクトに貼り付け、そのリズムや音素材にした理由を「表したいイメージ」と関わらせて書き、共有します。



⑤共有した作品をお互いにみあい、そのペアが「表したいイメージ」と「つくった音楽」との関連について意見交換をします。グループ内だけでなく他のグループとの対話が自然と行われています。



⑥意見交換したことを参考にしながらさらに自分たちの作品をブラッシュアップしていきます。自分たちの工夫や他のグループと共有して気づいたことをもとに振り返りを行います。

高遠中学校 音楽 伊藤佳代 先生の実践をもとに推進センターで編集させていただきました

学習者用デジタルコンテンツ（デジタル教科書）の活用

「学習者用デジタル教科書」では 紙の教科書の内容を表示でき、拡大や書き込み機能のほか、特別支援機能(機械音声読み上げ、総ルビ、白黒反転)が使用できます。ただし、音源や動画、創作などのコンテンツは搭載されていません。

創作教材などのコンテンツを利用するには別途「学習者用デジタルコンテンツ」が必要になります。



自分で考えたリズムが正確に再生されるのでイメージの確認ができます。
また、ボデーバーカッションを練習する際には拍に合わせたリズムが正確に演奏できているかの確認ができます。

【振り返り】ペアでリズムパターンをつくる

考えよう ペアで話し合いながらリズムパターンをつくりましょう

つくったリズムパターンを貼り付けましょう。

そのリズムやその音素材にした理由を「表したいイメージ」とかかわらせて書きましょう。

・自分のリズムはなぜかから考えた。まだ完成していないイメージで、自分のリズムを表現したい。
・自分のリズムはなぜかから考えた。まだ完成していないイメージで、自分のリズムを表現したい。
・自分のリズムはなぜかから考えた。まだ完成していないイメージで、自分のリズムを表現したい。

振り返り

自分のリズムにするのは難しい。テーマにした1日の学校生活の、ほんやりしたイメージが逆に必要だと感じた。また、掛け合いは自分のリズム同士のリズムの掛け合いが合えば、にぎやかさや盛り上がり表現になりそうだけど、自分音符と八分音符がずれた微妙なリズムの重なりになる。ただそれじゃなかったという印象になったから、実際に重ねてみて調整したい。

「1日の学校生活の様子を表現したい」と願いを持って取り組んだペアの学習カードです。イメージに合った音色や音符の組み合わせ方の工夫やペアとリズムを重ねる試行を繰り返してることが書かれ、振り返りには、本時の授業をもとに次時への見通しをもっていることが記述されています。

【学習カード】ペアでリズムアンサンブルをつくる

つくったリズムパターンを使ってペアで話し合いながらリズムアンサンブルをつくりましょう。

「表したいイメージ」と「つくった音楽」との関連について説明しましょう。

- ・2小節ごとに移り変わるそれぞれの感情の波を表現したい。
- ・感情ごとの波が大きい小さいかを、リズムだけではなく、たく大きく強く弱く表現することで、喜怒哀楽それぞれの感情が際立つようにしたい。

「喜怒哀楽を表現したい」と願いを持って取り組んだペアの学習カードです。この説明をもとに「リズム」パターンの組み合わせとイメージとの関わりについて詳しく記述できると良いですね」といった助言を行いました。

伊那市では、「学校教育情報化ビジョン2021」をもとに、iPadを導入して「ICT活用教育」を推進しています。

伝統的
学びを深めるICT活用

先進的
学びに導くICT活用

「Society5.0」時代の
学びを支える教員

個別最適な学び・対話的学び
創造性を育む学びの実現